

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金基準日	3月31日
公告方法	日本経済新聞 ただし、貸借対照表及び損益計算書は当社ホームページ (http://www.kyokuyo.co.jp) において提供します。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 (同連絡先) 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話：0120-707-696 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 野村證券株式会社全国本支店
事務手続き用紙の請求	配当金振込指定書用紙のほか、当社株式に関する事務手続き用紙(お届出の住所・印鑑・姓名などの変更届、単元未満株式買取請求書・買増請求書、名義書換請求書など)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にて、お電話ならびにインターネットにより、24時間承っておりますのでご利用ください。 電話：0120-86-4490 (フリーダイヤル) インターネットホームページ： http://www.tr.mufig.jp/daikou/



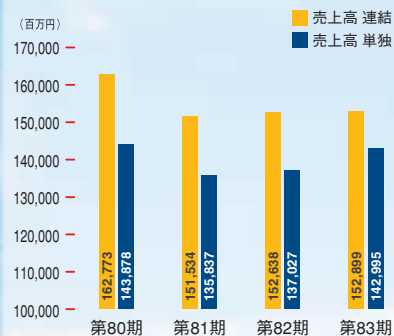
広がるおいしさ
ひろげるキョクヨー

企業理念

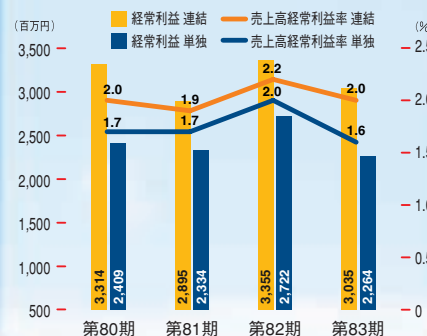
人間尊重を経営の基本に、
健康で心豊かな生活と食文化に貢献し
社会と共に成長することを目指します。



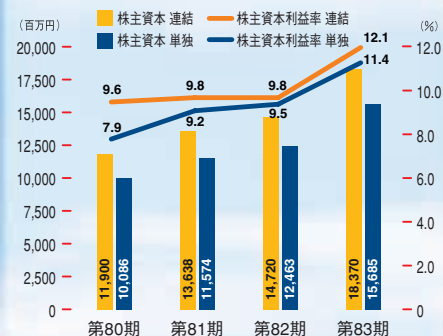
売上高



経常利益/売上高経常利益率



株主資本/株主資本利益率



CONTENTS

- P1. 企業理念
- P2. 株主の皆様へ
- P3. セグメント別の状況
- P5. トピックス & ニュース

- P7. 連結財務諸表
- P9. 個別財務諸表
- P10. 会社概況



代表取締役社長

福井清計

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

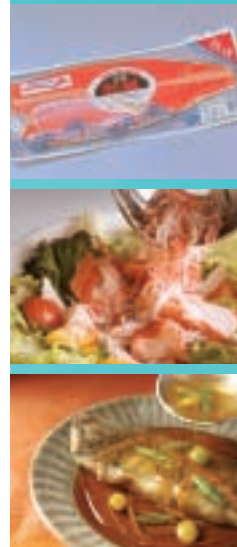
当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加などにより景気は堅調に回復し、更に株式市況の上昇、雇用環境の改善などに伴い、個人消費も緩やかな増加傾向を示しました。一方、水産・食品業界におきましては、需要が低迷するなか、企業間の競争も依然として厳しく、また、食品の安全性についての消費者の関心も引き続き高いものがありました。海外では健康志向の高まりから水産物の需要が伸張し、国際的な買付競争の結果、買付価格が上昇しました。このような状況のもとで、当社グループは消費者に安心・安全な食品の提供を心がけるとともに、事業基盤の強化と収益の確保を重視し、積極的かつ効率的な運営に努めました。以上の結果、当社グループの売上高は1,528億99百万円(前期比0.2%増)、経常利益は30億35百万円(前期比9.6%減)となりました。なお、投資有価証券売却益などの特別利益を36百万円、固定資産処分損などの特別損失を70百万円計上いたしました結果、当期純利益は20億7百万円(前期比44.5%増)となりました。

当社は、株主に対する適切な利益還元を経営の重要な課題のひとつと位置づけており、企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実と、利益還元のための安定配当の継続を基本方針としております。このような方針のもと、平成18年3月期の配当につきましては、1株当たり5円といたしました。

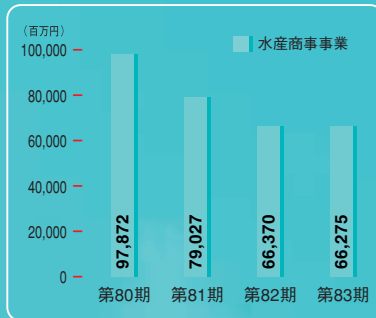
当社グループは今後とも、水産物を中心に、これに関連する周辺分野を視野に入れ、総合食品会社として成長することを目指します。また、安心・安全な食品の供給と環境保全を経営の重点課題とし、社内体制の整備、企業倫理の徹底、法令の遵守、情報の共有化を進め、的確な情報開示による透明度の高い事業運営を行い、社会に貢献してまいります。株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

To our shareholders



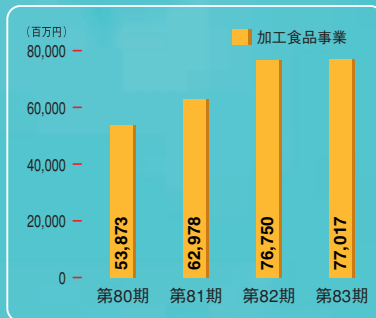
セグメント別の状況



■ 水産商事事業

海外からの水産物の買付は、国内の販売環境の悪化のため、かに、まぐろ、南方魚などの取り扱いをしばらくしましたが、かれいなどの北洋魚は海外との買付競争が激化するなか、取り扱いを増やすことができました。

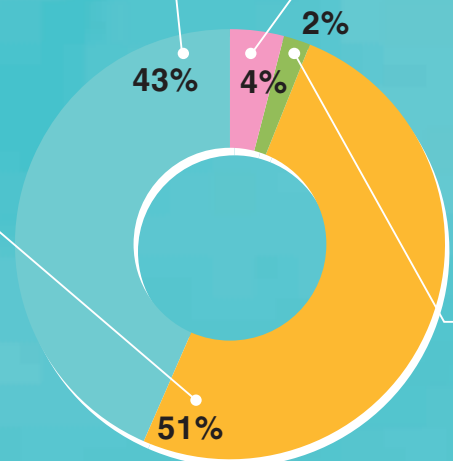
以上により、この部門の売上高は662億円(前期比0.1%減)、営業利益は11億88百万円(前期比3.8%減)となりました。



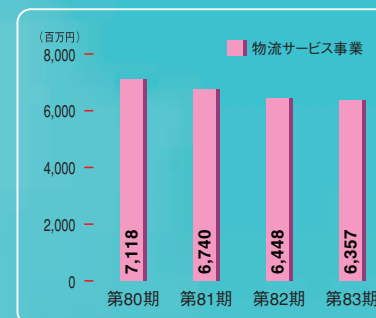
■ 加工食品事業

調理冷凍食品は、海老加工品や畜肉製品などを中心に販売数量を増やすことができましたが、寿司種商材や骨なし切身などの水産冷凍食品は加工原料の高値推移や国内の販売競争の激化により目標には及びませんでした。常温食品は、厳しい販売競争のなか、さば、さんま缶などの魚介缶の拡販に努めた結果、所期の目標を上回りました。

以上により、この部門の売上高は770億円(前期比0.3%増)、営業利益は18億14百万円(前期比18.8%減)となりました。

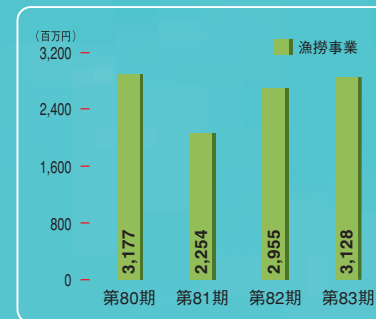


平成17年度売上高
152,899百万円



■ 物流サービス事業

冷蔵倉庫事業は荷動きが低迷するなど厳しい環境にありましたが、事業の効率化・経費の削減に努めた結果、概ね順調に推移しました。冷蔵運搬船事業は、原油価格の高騰により燃料価格が上昇しましたが、堅調な運賃市況を背景に、事業環境の変化に対応した船隊編成と配船を行うことにより所期の目標を上回りました。以上により、この部門の売上高は63億円(前期比1.4%減)、営業利益は4億80百万円(前期比10.2%増)となりました。



■ 漁撈事業

海外まき網事業は、中西部太平洋及び東沖において、かつお・まぐろを対象とした操業を行いました。燃料価格は上昇しましたが、かつおの漁獲が好調に推移したことや、経費の削減に努めるなど事業の効率的な運営により所期の目標を上回りました。以上により、この部門の売上高は31億円(前期比5.9%増)、営業利益は94百万円(前期比531.2%増)となりました。



(注) 前期との比較は当期の事業区分によっております。

海外拠点を拡充

欧米や中国における水産物の需要は、健康志向の高まりや中国の経済発展もありここ数年急速に拡大しています。当社グループは、主要商材の安定確保及び海外加工品の取り扱いの拡大、当社製品の販売を行うため、海外拠点の拡充を推進しています。2005年8月、オランダにアムステルダム駐在員事務所を設置、2005年10月、中国に青島極洋貿易有限公司並びに同法人広州分公司を設立しました。2006年度はアムステルダム駐在員事務所の現地法人化を計画、世界市場にキョクヨーブランドの浸透を図ります。



青島極洋貿易有限公司

和菓子・デザート分野に新製品

2005年秋の新製品として「ふっくらおはぎ」(3種)、2006年春の新製品として「水饅頭」(5種)、「ミニ団子」(3種)を発表しました。「ふっくらおはぎ」は北海道産小豆と新潟県産餅米を使い、ほのかな甘みと素材の風味を生かし、ふっくらと五感に訴える仕上がりにしました。「水饅頭」は涼しげでやわらかな外皮で、彩り鮮やかな5種類の餡を包みました。「ミニ団子」は餅生地に北海道産の餡を練り込み、抹茶、黄粉、胡麻をまぶした一口サイズの団子です。「広がるおいしさ ひろげるキョクヨー」をテーマに、キョクヨーグループはこれまで培ってきたノウハウを生かし、皆様の食生活に彩りを添えてまいります。



ふっくらおはぎ



水饅頭

新製品発表

「広がるおいしさ ひろげるキョクヨー」をテーマに昨年開催の「2005年秋の新製品」に引き続き、本年1月に「2006年春の新製品」として、水産加工品4品、調理冷凍食品27品、常温食品3品の計34品を発表しました。水産加工品では素材にこだわったノルウェーアジ切身やシマホッケ塩焼、秋鮭西京焼を発表し、水産加工品の主力の一つである「骨なし製品」の充実を図りました。当社の「骨なし製品」は、水産会社としての優位性とノウハウを生かし、原料の買付から加工技術まで一貫した品質・生産管理体制を構築していることが強みです。調理冷凍食品ではインドの代表的なスナックである「サモサ」にカレー、じゃがいも、トマトソースの3種類の餡が入ったものが新登場いたしました。常温食品では近海で漁獲されたかつおに竹の子・しらたきを加え醤油で味付けをした「かつお野菜煮」が新登場。当社の味へのこだわりが生かされています。今後も新たな分野に積極的にチャレンジすると共に、お取引先様のニーズに的確にお応えできるよう商品開発に努力してまいります。



左：秋鮭西京焼(骨なし)
右：シマホッケ塩焼(骨なし)



尾付きえび粉付き



かつお野菜煮

2006年 EUROPEAN SEAFOOD EXPOSITIONに出展 K&U Enterprise Co.,Ltd. 新工場 今夏完成予定



K&U Enterprise Co.,Ltd. 新工場外観完成予想



EUROPEAN SEAFOOD EXPOSITION 当社ブースにて
中央：当社福井社長



冷凍寿司

2006年5月9日(火)～11日(木)の3日間、ベルギーのブリュッセルにて、2006年EUROPEAN SEAFOOD EXPOSITION が開催されました。全世界65カ国以上から1,600社を超える企業が出展、ヨーロッパ各国はもとより、全世界から水産・食品関係の取引先が来場し、大きな商談会が催されました。当社も海外向け販売戦略の一貫として、KYOKUYOブースを設け冷凍寿司を中心に展示・試食・商談を行いました。今回出展した冷凍寿司については、当社海外向け販売戦略の大きな柱と位置づけられた商材となっています。8月には、当社とタイの大手食品会社 The Union Frozen Products Co.,Ltd.との合弁会社であるK&U Enterprise Co.,Ltd.の新工場が完成し、冷凍寿司及び寿司種生産が

本格的に開始される予定です。K&U Enterprise Co.,Ltd.で生産された製品は、日本のみならず、欧米を中心に販売することを計画しています。それに先立ち、欧米向け販売の道筋を作るべく、2006年3月にはボストンシーフードショーへ、そして今回EUROPEAN SEAFOOD EXPOSITIONへ出展しました。当社ブースへのご来場者は冷凍寿司に対して予想以上の関心を示され、当社の今後の販売において大きな可能性をつかむことができました。

連結決算

連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成18年3月31日現在	前連結会計年度 平成17年3月31日現在	科 目	当連結会計年度 平成18年3月31日現在	前連結会計年度 平成17年3月31日現在
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	44,995	41,655	流動負債	39,002	35,621
現金及び預金	3,089	2,775	支払手形及び買掛金	8,742	7,453
受取手形及び売掛金	17,887	17,552	短期借入金	24,963	22,581
たな卸資産	22,088	19,610	未払法人税等	697	849
繰延税金資産	759	447	賞与引当金	593	570
その他	1,261	1,370	繰延税金負債	—	0
貸倒引当金	△ 91	△ 101	その他	4,003	4,165
固定資産	20,054	16,851	固定負債	7,569	8,140
有形固定資産	8,774	9,249	長期借入金	2,597	4,344
建物及び構築物	2,411	2,353	繰延税金負債	1,421	101
機械装置及び運搬具	668	741	退職給付引当金	1,612	1,408
船舶	2,892	3,472	特別修繕引当金	64	42
土地	2,556	2,553	役員退職慰労引当金	422	350
その他	211	120	長期未払金	1,446	1,878
建設仮勘定	34	6	連結調整勘定	4	14
無形固定資産	445	261	負債合計	46,571	43,762
投資その他の資産	10,834	7,340	【少数株主持分】		
投資有価証券	9,611	6,096	少数株主持分	106	23
繰延税金資産	586	578	少数株主持分	106	23
その他	675	754	【資本の部】		
貸倒引当金	△ 38	△ 88	資本金	5,664	5,664
資産合計	65,049	58,506	資本剰余金	743	742
			利益剰余金	8,712	7,272
			その他有価証券評価差額金	3,509	1,412
			為替換算調整勘定	8	△ 2
			自己株式	△ 267	△ 368
			資本合計	18,370	14,720
			負債、少数株主持分及び資本合計	65,049	58,506

連結損益計算書 (単位:百万円)

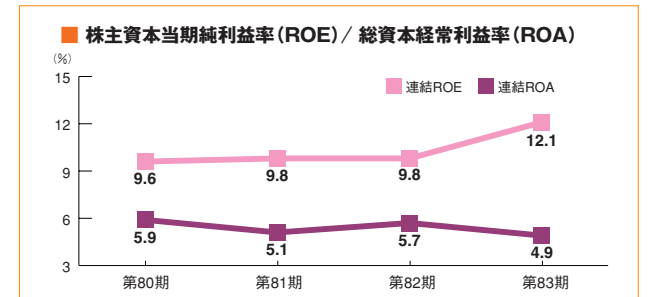
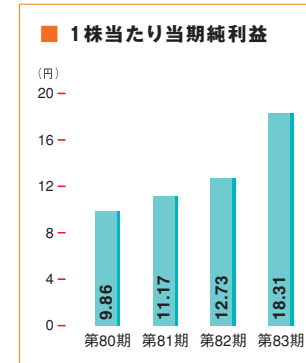
科 目	当連結会計年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	前連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売上高	152,899	152,638
売上原価	135,913	135,274
売上総利益	16,986	17,363
販売費及び一般管理費	13,702	13,702
営業利益	3,283	3,660
営業外収益	245	253
受取利息	23	22
受取配当金	69	53
外国為替差益	18	53
その他の営業外収益	134	124
営業外費用	493	559
支払利息	474	528
その他の営業外費用	18	30
経常利益	3,035	3,355
特別利益	36	345
特別損失	70	752
税金等調整前当期純利益	3,000	2,948
法人税、住民税及び事業税	1,393	1,422
法人税等調整額	△ 397	136
少数株主利益(△損失)	△ 2	△ 0
当期純利益	2,007	1,388

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	前連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,226	1,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,213	△ 273
財務活動によるキャッシュ・フロー	265	△ 1,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	303	△ 519
現金及び現金同等物の期首残高	2,725	3,359
連結除外による現金及び現金同等物減少高	—	△ 113
現金及び現金同等物の期末残高	3,029	2,725

連結剰余金計算書 (単位:百万円)

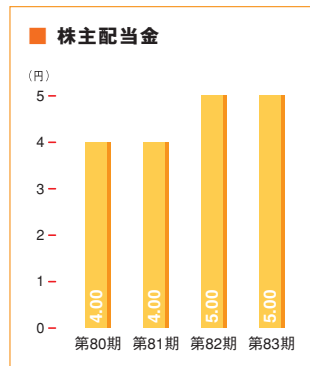
科 目	当連結会計年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	前連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
【資本剰余金の部】		
資本剰余金期首残高	742	742
資本剰余金増加高	0	—
資本剰余金減少高	—	0
資本剰余金期末残高	743	742
【利益剰余金の部】		
利益剰余金期首残高	7,272	6,378
利益剰余金増加高	2,007	1,388
利益剰余金減少高	567	494
利益剰余金期末残高	8,712	7,272



連結財務諸表

単独決算

貸借対照表 (単位:百万円)		
科 目	当期 平成18年3月31日現在	前期 平成17年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	40,110	37,771
固定資産	15,917	11,909
有形固定資産	3,413	3,251
無形固定資産	419	233
投資その他の資産	12,084	8,423
資産合計	56,027	49,680
【負債の部】		
流動負債	35,456	32,132
固定負債	4,885	5,084
負債合計	40,341	37,217
【資本の部】		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	743	742
利益剰余金	6,257	5,201
その他有価証券評価差額金	3,288	1,224
自己株式	△ 267	△ 368
資本合計	15,685	12,463
負債資本合計	56,027	49,680



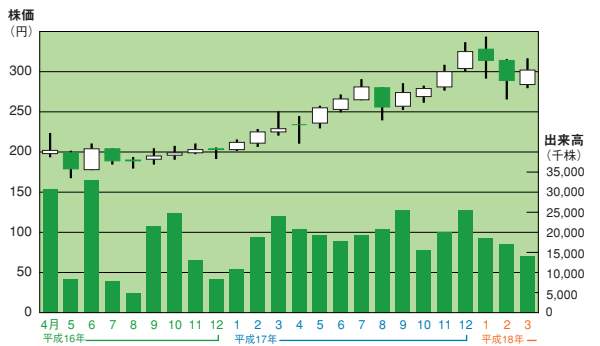
損益計算書 (単位:百万円)		
科 目	当期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	前期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売上高	142,995	137,027
売上原価	128,082	122,375
売上総利益	14,912	14,652
販売費及び一般管理費	12,611	11,863
営業利益	2,301	2,788
営業外収益	346	339
受取利息	39	39
受取配当金	210	197
外国為替差益	32	39
雑収入	64	63
営業外費用	383	405
支払利息	371	394
雑支出	11	10
経常利益	2,264	2,722
特別利益	23	360
特別損失	62	720
税引前当期純利益	2,225	2,361
法人税、住民税及び事業税	1,001	1,091
法人税等調整額	△ 386	128
当期純利益	1,611	1,141
前期繰越利益	2,412	1,827
自己株式処分差損	—	1
当期末処分利益	4,023	2,967

利益処分 (単位:百万円)		金 額
当期末処分利益		4,023
上記の金額を次のとおり処分いたしました。		
株主配当金 (1株につき5円)		538
取締役賞与金		30
次期繰越利益		3,455

会社概要 平成18年3月31日現在

社名	株式会社 極洋		
英文社名	KYOKUYO CO., LTD.		
本社所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目3番5号		
設立	昭和12年9月3日		
資本金	56億6千4百万円		
主要な事業内容	水産物の輸出入・国内買付販売、 加工食品及び冷凍食品の製造販売		
従業員数	1,123名 (連結) 504名 (単独)		
連結対象会社数	12社		
役員 (平成18年6月29日現在)	代表取締役社長	福井清計	計久一
	専務取締役	石川泰久	憲一
	常務取締役	門田憲一	久樹
	常務取締役	多田久樹	光太郎
	常務取締役	久保光太郎	元雄
	取締役	田村元雄	廣
	取締役	須藤時廣	吉男
	取締役	村上吉男	誠司
	取締役	荒砥誠司	賢司
	取締役	今井賢司	隆毅
	常勤監査役	菊田高毅	洋
	常勤監査役	細川高毅	
	監査役	伊東洋	
	監査役	向山洋	

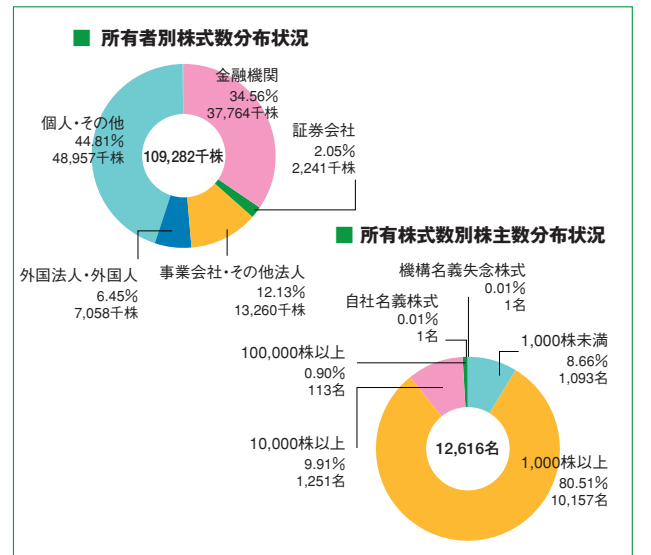
株価及び出来高の推移



株式の概況 平成18年3月31日現在

会社が発行する株式の総数	437,000,000株
発行済株式の総数	109,282,837株
株主数	12,616名

大株主		
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三井住友海上火災保険(株)	6,201	5.67
(株)りそな銀行	5,234	4.78
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	4,775	4.36
農林中央金庫	4,450	4.07
東洋製罐(株)	3,150	2.88
日本証券金融(株)	2,877	2.63
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インク	2,851	2.60
日本マスタートラスト信託銀行(株)	2,599	2.37
東京海上日動火災保険(株)	2,245	2.05
日興シティ信託銀行(株)	2,068	1.89



個別財務諸表

会社概況